



第 1 2 8 号

千葉盲通信

H30. 12. 21

千葉県立千葉盲学校

住 所：四街道市大日468-1

電 話：043-422-0231

<https://cms1.chiba-c.ed.jp/chiba-sb/>

校 長：大野 一美

幼児児童生徒数：71名

「地域の皆様に見守られながら」

教 頭 浅沼 千鶴

本校では、二名の教頭が幼児児童生徒の登校時に校門に立ち、安全を見守ることが恒例になっています。10分間程の短い時間ですが、登校してくる生徒たちの表情や様子が見えること、空の変化や空気感などから季節を感じられること、そして、道を行き交う近隣の方々と直接挨拶を交わすことができることと、とても貴重な時間になっています。また、登校での寄宿舍からの約300mの歩道の歩行は、生徒たちが安全な単独歩行を身につけるための貴重な指導の場であり、その様子を見守ることができる貴重な時間でもあります。

寄宿舍指導員に見守られながら、生徒は点字ブロックの上を歩きます。幅の狭い歩道を白杖を左右に振りながら歩く姿を、先を急ぐはずの近隣の皆様は後ろから見守るように歩いたり、車道に出て生徒たちの歩行を優先させてくださったりしていただいています。本校が昭和45年に四街道のこの地に校舎を構えてから、約50年に渡って地域の皆様の温かな御支援、御協力をいただきながら、幼児児童生徒の学習活動が行われていることを、感謝する毎日です。

時代や幼児児童生徒の様子に応じて、地域の皆様との関わり方は変わってきています。今年は、10月に萱橋台自治会の皆様の御厚意で、「子ども神輿」が本校に初めてやってきました。立派な御神輿の飾りに触れられる機会は、まず他ではないでしょう。萱橋台自治会の皆様から御神輿の由来を聞き、間近で見て、触れて、担いでみる。幼児児童生徒は、御神輿の重量以上の精神的な重厚さを感じることができたようでした。私たち教師だけでは用意できない、幼児児童生徒の心に残る貴重な体験を地域の皆様からちょうだいすることができました。

さて、本校では、年明け1月19日（土）「県内1000か所ミニ集会」を開催いたします。地域の皆様や卒業生、保護者代表の方をパネリストに迎えて、「地域とともに歩む千葉盲学校」をテーマに、千葉盲学校が「地域の皆様とできること」「地域のお役に立つこと」等の御意見やお考えをいただきたいと考えています。皆様に「応援をしていただく」「やっていただく」ことの多い本校が、これまで以上に地域社会に開かれた学校づくりに励んでいけるよう、皆様と意見交換できればと考えております。多くの地域の皆様、保護者の皆様の御参加をお待ちしております。

1月の予定

- 12月24日（月）～1月6日（日）冬期休業
- 1月 7日（月） 授業開始
- 1月17日（木） ロービジョンサポート
- 1月19日（土） 授業参観、県内1000か所ミニ集会
- 1月21日（月） 振り替え休業日
- 1月30日（水） 開かれた学校づくり委員会





★小学部 「サツマイモの収穫」

小学部では、11月7日（水）にさつま芋の収穫をしました。つるがよく伸びた、葉が生い茂った畑で、「もう、出てくるかな。」「まだ、抜けないね。」とわくわくしながら、根気よく土を掘ったり、つるを引っ張ったりしました。土の中からは大きくて立派なさつま芋がごろごろ出てきました。サツマイモの大きさや重さに驚いた子どもたちからは「わー！おっきい。」と大きな歓声が上がりました。頑張って掘った分、嬉しさは倍増でした。芋掘りの後は2グループに分かれて、芋のつるを使った、「つな引き」ならぬ「つる引き」をしました。「うんとこしょ、どっこいしょ！」のかけ声で、つるをしっかりと握って引っ張りました。さわやかな秋空の下で盛り上がりました。

小学部 向高望帆



★中学部 「鉄道体験について」

去る11月12日、成田市の鉄建建設技術センターにおいて、鉄道体験を行いました。生徒12名が参加したこの体験活動は、盲導犬体験、路線バス体験に次いで3年に一回実施しています。今回の体験内容は、ホーム上の非常ベルを押して音を聞いたり、線路に下りてレールとホームの高さを手で確認したり、ホームから線路に落下したことを想定してレール間の窪んだ空間に仰向けに寝た上を電車が通過するという疑似体験をしたり、踏切の構造や仕組みを知ったりするなど、盛りだくさんでした。ホーム上の移動や踏切横断の方法なども学習し、充実した体験活動となりました。

中学部 茂木康彦



★高等部 「関東地区盲学校生徒会連合文化祭に参加して」

11月20日（火）に群馬県前橋市にある群馬県立盲学校において関東地区盲学校生徒会連合文化祭が行われ、高等部から生徒会役員3名が参加しました。

午前の部では、各盲学校の歌やダンス、クイズなどの発表が行われました。午後の部では、交流会がありました。空き缶積みゲームや新聞紙アートなど、他校の生徒と協力しながらゲームに取組み、大変盛り上がりました。

本校の生徒はペットボトルホルダーやバックチャーム、ストリングアートを制作し、作品展に出展しました。

各校の工夫を凝らした発表を鑑賞し、来年度はどのような発表をしようかと思いを馳せながら、前橋を後にしました。

高等部 小出瑞紀

